

ルクセンブルク経済・金融情勢（2011年12月）

【トピック】

- ・ 欧州金融安定化ファシリティ（EFSF）が初めての短期債の入札を行う。
- ・ 16日に予定されていた三者協議が中止。2012-14年の賃金物価スライド制の実施は年1回のみで、間に12か月のインターバルを置くことを政府が決定。
- ・ カタール系投資グループであるプレジジョン・キャピタル社及びルクセンブルク政府が、デクシア・グループが保有するデクシアBILの株式の99.906%を取得する契約を締結。プレジジョン・キャピタル社は株式の90%を取得し、残りの10%をルクセンブルク政府が取得。

1. 製造及び建設セクター

製造セクター

12月の景気動向調査によれば、11月に引き続き生産・注文数ともに悪化。景気の悪化は、非金属鉱物（ガラス、セラミック等）、機械、設備部門を除き全体的に広がっている。2011年1-10月の工業生産量は、前年同時期に比べ、2%後退。

建設セクター

2011年第3四半期の建築許可数は、同年上半期に引き続き高い水準で推移。11年9月末の建設量は前年同時期より20%程度増加しており、住宅部門は28%増加、非住宅部門は14%の増加。

2. 金融セクター

- (1) 11年11月末現在銀行資産残高は7,903億ユーロ。
- (2) 11年12月末現在銀行数は142行。
- (3) 11年12月末現在投資信託残高は2兆965億ユーロで、前月比1.80%増。
- (4) 11年12月末現在の金融機関従業員数は26,695人。3か月前と比べ114人減少（-0.4%）。

3. 雇用情勢

- (1) 11年12月の季節調整済み失業率は6.2%（推計値）。
- (2) 11年第3四半期の国内雇用者数は第2四半期と比べ0.6%増加。

4. インフレ

- (1) 11年12月のインフレ率は年率3.2%（前月同3.6%）。
- (2) 11年のインフレ率は3.4%（09年は0.4%、10年は2.3%）。インフレ率上昇の原因は、エネルギー製品、金属製品、食料品など原材料費の高騰や、手数料の値上げ。

※ 当国政府機関（統計局等）の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。